



来年度当初予算の内示に向けた要望活動

2月17日、自民党議員団の近藤永太郎団長をはじめとする代表団が、府民の安心・安全の向上や府域の均衡ある発展に資する道路・河川等の整備推進について要望を行いました。



左から、吉井章参議院議員、兎本副議長、中村代表幹事、水嶋智国国土交通事務次官、近藤団長、田島議員、宮下議員

- 新名神高速道路の早期全線開通と幹線道路整備の予算配分
- 山陰近畿自動車道の早期全線開通
- 直轄国道の整備
- 上下水道施設の強靱化対策を推進するための予算確保
- 舞鶴国際ふ頭第2バースの促進及びII期整備推進に係る支援
- 地域公共交通の確保・維持のための予算確保

主な重点要望事項

令和8年度当初予算及び令和7年度2月補正予算

総額1兆581億700万円

令和8年度当初予算 1兆432億6,000万円

令和7年度2月補正予算 148億4,700万円

府民生活や事業活動を守る物価高騰対策

- (1) 府民生活を守り向上させるための取組
 - 外出応援キットの配布等により子育て世帯の外出時の負担を軽減 4億円
 - 銭湯文化を守り認知度向上や利用促進を図るため子どもの入浴料の無料化を実施 5,600万円
 - 保育所や幼稚園等が実施する演奏会やお遊戯会などの取組への支援を強化 3億円
 - 府内の大学が実施する学生食堂の割引など学生を応援するための取組を支援 1億6,200万円
- (2) 事業活動を守り発展させるための取組
 - 中小企業等が行う持続的な生産性向上に向けた取組を支援 8億円
 - 厳しい状況にある伝統産業事業者の事業継続に向けた取組を支援 1億9,000万円
 - 地域公共交通の維持確保や鉄道の利用促進に向けた取組を総合的に支援 4億7,000万円
 - 高水温の影響で漁獲物の鮮度保持に苦しむ漁業者の設備導入等を支援 1億円

府民の安心・安全対策

- (1) 安心できる健康・医療・福祉の充実
 - 安心できる地域医療を維持するための医師確保対策を推進 9億6,700万円
 - 全国トップクラスの福祉医療制度により府民の経済的負担を軽減 82億8,300万円
 - 発達障害児の診療体制再構築と早期支援の充実により初診待機期間を短縮 2,800万円
- (2) 災害発生時における対応強化
 - 被災時の府民の生命と健康を守るため災害救助用備蓄物資を計画的に確保 1億3,000万円
 - 避難者の災害関連死や健康被害を防ぐため避難所等の環境整備を推進 1億3,500万円
 - 府市及び府内市町村の連携による京都市消防ヘリの2機同時運航を開始 3,000万円

子育て・教育環境の充実

- (1) 子育て環境の充実
 - 私事認定した市町村の子育てにやさしいまちづくり計画を進める取組を支援 1億400万円
 - 経済団体や民間企業との連携による婚活支援の取組を強化 1,600万円
 - 多様な保育ニーズに対応するため2歳児の幼稚園利用料への支援を強化 4,300万円
- (2) 教育環境の充実
 - 私立高校に安心して修学できるよう国制度に上乗せし授業料等の保護者負担を軽減 21億3,300万円
 - 体育館・特別教室の空調設備整備やトイレの洋式化を計画的に実施 8億8,000万円
 - 府立高校のさらなる魅力化を図るため未来を担う人材の育成に向けた取組を推進 3億5,000万円

人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

- 道路整備等の公共事業 561億7,200万円

令和8年2月定例会において自民党議員団は以下の質問を致しました。

※2月定例会での質問内容の一部抜粋です。詳しくは京都府議会のHP録画中継でもご覧頂けます。



1. 2期8年の府政運営総括と今後の府政運営への決意は
2. 本府の農業振興について
3. 府域における今後の道路整備について

亀岡市

中村正孝



- 2期8年の府政運営を高く評価する。この間の府政運営の総括と、長引く物価高騰をはじめ、本格的な人口減少・高齢化社会など、府政の課題が山積する中、今後の府政をどのように運営するのか。
- 人口減少・高齢化が加速する中で、農業人材の育成は喫緊の課題であり、施策の一層の重点化が必要と考えるが、本年度の取組状況と今後の展開はどうか。
- 道路ネットワークは、府域の均衡ある発展を支える基盤であり、計画的に強化に取組、地域づくりの促進や、災害の強靱化・頻発化、インフラの老朽化などの道路を取り巻く課題の深刻化、人口減少などの社会的な課題を踏まえ、今後どのように道路ネットワークの強化を進めるのか。また、地元亀岡法貴バイパス整備、都市計画道路並河亀岡停車場線の事業進捗は。

2月定例会 代表質問

山城北部7市町が要望する計画・構想路線の一つ、城陽-八幡連絡道路整備の検討状況は

八幡市

田島祥充



- [西脇知事答弁]
城陽八幡連絡道路については、南部地域を流下する木津川が、東西方向の交通におけるボトルネックとなっており、新たな橋梁を設けることで、広いエリアでの渋滞緩和に対し、高い効果を発揮し、南部地域のさらなる発展につながる。
この城陽八幡連絡道路については、本年の1月21日に開催した京都府公共事業評価に係る第三者委員会に諮ったところ、南部地域における渋滞緩和に加え、アクセス性の向上による企業立地などの地域のまちづくりや、木津川の右岸地域と左岸地域の移動時間の短縮による地域間の交流が促進されることなどの効果も認められ、事業の妥当性が確認できましたことから、早期の事業化を目指したいと考えております。

- ① 中小企業の未来を切り拓く支援について
- ② 地域DXにおける府の役割について
- ③ 子育て環境日本一の実現について

福知山市

武田光樹



- ① 中小企業経営者の成長意欲とリスクの現状を踏まえ、事業承継と一体的に捉えた総合的な支援の必要性を指摘し、京都府として経営者を取り巻く環境の認識と、「今を支える施策」から「未来を切り拓く支援」へ政策転換する方向性と具体策を問う。
- ② 人口減少や担い手不足が進む中、地域の持続可能性を高めるための地域DXの重要性を踏まえ、先行事例の広域展開に向けた京都府の司令塔としての役割、人材育成・安全対策・連携支援を含む地域に寄り添った自走型DX推進の具体的な支援方針を問う。
- ③ 「子育て環境日本一」のこれまでの取組評価と今後の深化の方向性、まち全体で子どもを支える視点からの交付金の柔軟な活用、さらに京都版ミニ・ミュンヘンの発展と府内展開の考え方を問う。

府内企業（農業、商業、工業等）の経営基盤の強化を図るため、DXの推進や必要な支援について聞きました。

城陽市

奥村文浩



- 府内企業のDX推進が望まれるが、進化するAIなどソフトウェアの性能を一般企業で逐次の把握が困難で、DX推進を希望する企業とDX提供側とのマッチングの場や連携を進めるべき。
- 成人後の生活習慣病が大きな問題となるが、大人になってから健康知識を身に付ける機会を得ることは難しいことから、きょうとプレコンのうち健康に関する部分を進めることができないか。
- 抹茶ブームで、茶農家が利益を上げる一方で、手摘みの茶の生産が困難となっている。摘み手の確保や、労働環境への支援が必要。

2月定例会 一般質問

関山陰近畿道の早期全線開通を！ 答 令和8年度には都市計画決定の手続きに着手できるよう準備を進める

京丹後市

森口亨



- 関高速道路の効果を最大限生かすため道路ネットワークの強化を。
関山陰近畿道の整備効果を地域全体に広げるには、沿岸部を周回する国道178号や内陸部の主要地域を結ぶ国道312号に加え、国道482号や府道網野若滝線などの幹線道路の整備も重要で、これらを着実に進める。幹線道路ネットワークの強化も含め、丹後地域の発展を支えていく。
関海洋環境の急激な変化により海洋センターの果たすべき役割は大きく、機能強化は待たなしの状況だが、関海洋センターが蓄積する研究・調査データを強みに、産学官のオープンイノベーションによる技術革新と産業創造の拠点として機能強化を目指す。

- ① 府の主権者教育について
- ② 府の土木育について

京田辺市・綴喜郡

古林良崇



- ① 主権者教育の本質は、投票率向上ではなく、政治的教養すなわち民主制や国家の成り立ちへの理解、他者への想像力、地域社会との関係性、公共性への感覚、自らを律し自由を守ろうとする態度など人格的基盤を含む重層的な概念であると考えているが、府の所見を伺う。
- ② 命と生活を守る公共の営みとしての土木の役割や重要性を、幼少期から分かりやすく伝えていく土木育は、自然災害大国である日本で生活していく上で健全な自助意識の醸成や、子どもたちの人間形成にとっても極めて重要と考えるが、府の所見を伺う。

2月定例会 一般質問

- ①職員が力を発揮できる執務環境へ
- ②地域と共に多文化共生の安心づくり
- ③青切符導入後の自転車安全を確実に

上京区
宮下友紀子



- ①職員の業務環境整備と生産性向上について
▶執務環境は生産性向上の基盤。組織として改善を進める必要がある。それが、府民、事業者への支援につながる
- ②外国人住民増加に伴う地域の安心と多文化共生のあり方について
▶住民の不安に寄り添い広域自治体として支援を強化。好事例の横展開や共有、市町村支援を進め安心できる地域づくりを!
- ③自転車に対する交通反則通告の導入に伴う安全対策について
▶自転車の悪質行為を厳正対処し周知と環境改善で安全確保を

未来に向けて持続可能な京都府を実現するため、人と人が安心して関わりあい、力を発揮できる環境づくりを。

宇治市・久世郡
藤山裕紀子



- やりがいを感じられる職場づくりについて…若手職員を見守り育てる職場づくりと西脇知事が示される方向性や将来像を職員が共有することで「チーム京都府」での府庁全体の生産性向上を。
- 幼児教育について…幼児教育の中で培ったひとり一人の特性や育ちを更に伸ばしていくために、小学校と幼稚園や認定こども園の密な連携でこどもたちの育ちの共有と育みを。
- 歯と口の健康づくりについて…科学的根拠に基づく情報発信等、プレコンセプションケアとしての口腔ケアの意識向上と推進を。

- 1、府北部地域の人材確保について
- 2、府民が相談できる地域連携薬局について
- 3、部活動の地域展開について

舞鶴市
池田正義



- 1.府北部地域では、有効求人倍率が令和7年12月時点で1.73倍と、府南部地域の1.30倍を大きく上回る人手不足が続いている。この課題にどう対応するのか。また人材確保プロジェクトの取組はどうか。
- 2.薬局を単なる調剤の場から地域医療・住民の健康を支える拠点へと深化させるため「地域連携薬局」や「健康サポート薬局」の取組について、どのように周知・啓発を進めるのか。
- 3.部活動の地域展開について、どのような方針で進めてきたのか。またモデル事業の成果と課題、さらに今後の取組方針はどうか。

予算特別委員会 総括質疑

- 1.令和8年度当初予算案について
- 2.府立高等学校の在り方について
- 3.府立高等技術専門校について

福知山市
家元 優



- ①知事選挙を控えた骨格的予算案であるが、物価高騰対策はじめ、きめ細かく配慮された予算案であり高く評価する。府内中小企業が直面している物価高騰、人手不足に対する長期的な支援策は、専門的経営支援コーディネーターの配置効果と令和8年度の取組は。
- ②府立高校の入志願者状況を踏まえ、府教育委員会の府立高等学校改革の展開は。国は高校改革に関する基本方針を公表したが、京都府における拠点校の選定や高等学校教育改革実行計画策定など高校改革の取組をどのように進めるのか。そのスケジュールは。
- ③府立高等技術専門校は、実践的な訓練内容等、企業・事業所からも高い評価を受けているが、入校希望者の増加に結び付かない要因は何か。魅力ある高技専にするため、どのような取組を進めるのか。

- ①若者の府内就職・定着に向けた支援を
- ②広域観光振興と観光分散化の取組みは

伏見区
瀧脇正明



- ①全国有数の大学の街である京都は、卒業時に相当数の学生が大都市圏を中心に就職し、若者の府外流出が続いている。人口減少と少子高齢化が進行する中、若者の府外流出は、地域経済の持続性、府内企業の人材確保、地域コミュニティの維持の観点からも重要な課題。若者が、京都で働き暮らし続けたいと思える「働きやすい職場づくり」に向けた支援を。
- ②有名観光地に集中する混雑緩和に向けて、観光客の分散化や周遊促進を図り、府域全体に経済効果を波及させる観光振興の取組が重要。歴史・文化・自然・食など多様で魅力ある地域資源を高付加価値な観光資源として磨き上げ、時間差観光や周辺府県との連携を進め、オーバーツーリズムの緩和と府域全体への観光効果を波及させる取組みを。

- 1.府民の安心・安全を確保するための危機管理体制について
- 2.大阪・関西万博のレガシーを活かした文化が生きる京都の推進について

山科区
大澤彰久



- 1.減災・防災対策を総合的に進めるためには、平時からの備えと地域のつながりが重要と考えるが、災害ボランティアセンターの運営体制整備や防災教育の充実を含め、「自助・共助・公助」が有機的に機能する体制づくりのため、本府として今後重点的に取り組むべき課題について質問
- 2.万博を契機に高まった国際的な注目を一過性に終わらせることなく、世界に向けて継続的に京都の文化を発信していくため、万博関連事業で得られた国内外とのネットワークや来訪者データ、広報・発信手法等の成果を活かし、事業を展開していく必要があると考えるが、令和8年度以降の文化政策にどのように活かしていくのか、具体的な方向性について質問

政務調査活動

よりよい京都府を実現するため、各地を調査、様々な勉強会や意見交換会を行っています。

本年度は米陸軍経ヶ岬通信所、山陰近畿自動車道大宮峰山道路、京都府北部医療センター、府立看護学校、福知山市街地を流れる一級河川由良川水系の治水対策事業として府管理の新荒河排水機場や大谷川改修等の管内現地調査を行いました。



米陸軍経ヶ岬通信所



由良川水系治水対策事業

北区 津田裕也	上京区 宮下友紀子	左京区 石田宗久	中京区 青木義照	東山区 荒巻隆三	山科区 大澤彰久	下京区 小巻久美	南区 秋田公司	西京区 近藤永太郎
伏見区 渡辺邦子	伏見区 瀧脇正明	福知山市 家元 優	福知山市 武田光樹	舞鶴市 池田正義	綾部市 種清喜之	宇治市 久世郡 藤山裕紀子	宮津市 与謝郡 中島武文	亀岡市 田中英夫
亀岡市 中村正孝	城陽市 奥村文浩	向日市 磯野 勝	長岡京市 乙訓郡 能勢昌博	八幡市 田島祥充	京田辺市 綴喜郡 古林良崇	京丹後市 森口 亨	南丹市 船井郡 片山誠治	木津川市 相楽郡 梶本和久

自民党京都府議会議員団

府民の声をお聞きし、その思いを実現してきました。お困り事・ご要望は地元の議員にご相談ください。